

正通寺便り

令和 7 年年末号

鏡餅

お正月には鏡餅をお床に飾ります。この鏡餅にはたくさんの意味があるようです。たとえば円い餅は三種神器の鏡、上のみかんは勾玉、串柿は剣であるといわれます。また歳神さまへのお供え、歳神さまのよりしろともいわれます。仏教ではお餅の円について意味を説きます。仏教で円とは「円満」のことです。円満はまた円融またマンダラともいわれ、完全であることを指します。

仏の智慧は完全であり、なにごとにもかたよった見方をしないということです。なにごとにも自分を中心に見て、考えるのが人間の本来のありかたです。それを超越したのが仏の智慧です。お正月には鏡餅を見ながら、少しでも円満な見方ができるように神仏に祈りましょう。

ちなみにかがみ開きはおもに十一日におこなわれます。この時、このお餅を切り分けてみなで食べるのが本来のお歳魂としだまともいわれます。

令和八年年忌表

一周忌

令和七年

三周忌

令和五年

七回忌

平成三十一年

十三回忌

平成二十五年

十七回忌

平成二十一年

二十五回忌

平成十三年

三十三回忌

平成五年

五十回忌

昭和五十一年

正通寺

おかんきQRコード



おかんきがスマホで
右のQRコードをスマホで
スキャンして正通寺ホーム
ページ「各種ダウンロード」
の「おかんき」をタップ